

水道用塗覆装鋼管ジョイントコート・熱収縮系チューブ

ネオジョイント-1150 WSP

概要

ネオジョイント-1150 WSP は、水道用塗覆装鋼管の現地溶接継手部外面防食用として開発された熱収縮チューブです。架橋ポリエチレンを素材とし、150℃以上の加熱により収縮密着し、すぐれた防食効果をあげます。

本品は WSP012-2014、JWWA K153(附属書 D)に示されました。その性能を示します。

特長

- 防水性にすぐれています。
内層に塗布した粘着剤が収縮時の熱で流動し、チューブと鋼管をすき間なく密着させます。
- 耐薬品性にすぐれています。
アルカリ、酸、硫黄に強く、それらを含む土壌の中でも腐食しません。
- ストレスクラック性、耐候性にすぐれています。
- ピンホールレスです。
多層構造のため、貫通ピンホールがありません。
- 作業に対する信頼性が高くなります。
施工に特別な技術を必要としません。
- 鋼管やポリエチレンライニング層の径、厚さに応じた各種サイズが揃っています。

用途

水道輸送用パイプラインの塗覆装鋼管溶接接続部の防食用。
WSP012-2014（長寿命形水道用ジョイントコート）、JWWAK153:2014(附属書 D)
（長寿命形水道用ジョイントコート(PJX)）規格に適合しています。

構造および使用状態

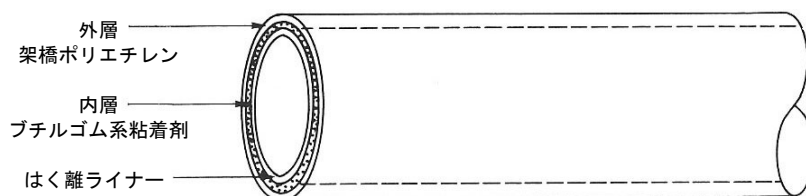


図-1 構造

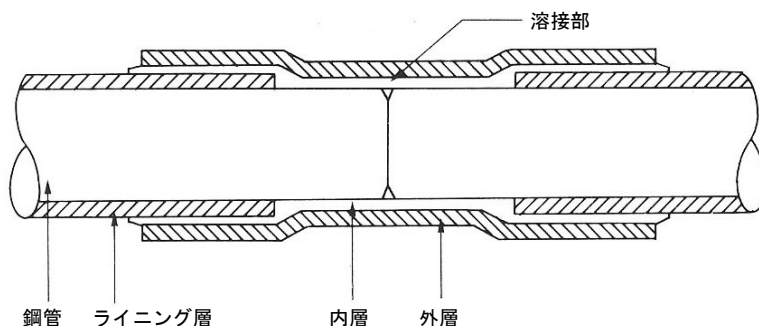


図-2 使用状態

サイズ

表-1 寸法

(単位 mm)

呼び径	鋼管実外径	収縮前内径 (標準)	収縮後内径 (最大)	基材 厚さ	粘着層 厚さ	幅
80A	89.1	120	80	1.5	1.0	450
100A	114.3	150	100			
125A	139.8	175	115			
150A	165.2	200	130			
200A	216.3	265	175			
250A	267.4	320	205			
300A	318.5	370	240			
350A	355.6	420	270			
400A	406.4	470	300			
450A	457.2	520	330			500
500A	508.0	570	360			
600A	609.6	680	435			
700A	711.2	800	505			
800A	812.8	900	565			
900A	914.4	1,000	630			
1000A	1016.0	1,100	695	600		

* 上記サイズ以外についても、ご相談に応じます。

一般特性

表-2 被覆の性能

項 目	単 位	規格値	測定値
外 層 材 厚 さ	mm	1.5 以上	1.6
内 層 材 厚 さ	mm	1.0 以上	1.3
外 観	-	良好の事	良好
※ ピ ン ホ ール	-	ピンホール無き事	ピンホール無し
※ 耐 衝 撃 性	-	23°C11J ピンホール無き事	ピンホール無し
※ ピ ー ル 強 度	N/mm(23°C)	0.4 以上	0.52
	N/mm(60°C)	報告事項 ¹⁾	0.15
※ 押 し 込 み 深 さ	mm(23°C)	0.3 以下	0.093
	mm(60°C)	報告事項 ¹⁾	0.153
※ 耐 陰 極 剥 離 性	mm(23°Cx28 日)	10 以下	7
	mm(60°Cx28 日)	報告事項 ¹⁾	16
※ 温 水 浸 漬 後 の ピ ー ル 強 度	N/mm(60°Cx28 日後 鋼管面)	0.2 以上	0.64
	N/mm(60°Cx28 日後 工場被覆面)	0.4 以上	0.71
※ 加 熱 試 験 後 の ピ ー ル 強 度	%(80°C保持 (100 日後/初期))	75 以上	78.3
	%(80°C保持 (100 日後/70 日後))	80 以上	100
※加熱試験後の引張破壊時 呼 び ひ ず み	% (100 日後/初期)	75 以上	97.9
	% (100 日後/70 日後)	80 以上	98.6
※ せ ん 断 接 着 強 度	N/m m ² (23°C)	0.05 以上	0.08
	N/m m ² (60°C)	報告事項 ¹⁾	0.014
※加熱収縮後のジョイント コ ー ト の 被 覆 厚 さ	mm	1.6+規定なし -0.1	3.2

引用規格 : WSP 012-2014、JWWA K153:2014 (附属書 D)

種類 : 長寿命形水道用ジョイントコート

※形式検査項目

注 1) JWWA K 153 では"受渡当事者間の協議による"と読み替える

-
- ・本データシートは、あくまで一定条件下における本製品の測定値であり、保証値ではありません。
 - ・本製品はお客様のご使用条件などにより品質・性能・機能が異なりますので、詳細は当社の本製品担当部門にお問い合わせください。
 - ・本製品はお客様のご使用方法によっては記載数値とは異なる結果が生じることがあります。より適切にかつより安全にご使用いただくためにも、お客様ご自身で実際に試験されてからご使用ください。
 - ・本製品や本製品の仕様などは、予告なく製造中止や変更されることがあります。
 - ・本文書に係る知的財産権は、日東電工株式会社にあります。当社の意図する正当な使用目的以外に本文書を使用される場合は、事前に当社の本製品担当部門にご相談くださいますようお願いいたします。なお、当社に無断の複写、転載は固くお断りいたします。

日東電工株式会社